

目 次

巻頭言	法教育との出会いと今日の教育改革におけるその存在意義	大杉 昭英	1
第1編 論 考			
〔研究論文〕	米国における対立解決教育の歴史的展開 ——第一期（拡大期）	齋藤 宙治	5
	法教育のための世代間倫理 ——法教育の理念の実現のための手続	長島 光一	17
	高校における労働法教育の効果検証 ——労働者の権利理解・行使に関するアンケート調査から	前田 圭介	29
〔実践報告〕	公民館に「サル山共和国」を創り出す ——大学教員が行う小学生のための「法律ゼミ」 大村 敦志, 西原 博史, 仲道 祐樹, 松井 朋子		41
	弁護士との協同による「対立と合意」・「効率と公正」の授業 ——思考力を育てる教材への発展	種村 求, 熊本 秀子	51
	いじめに対して考える足場を形成する法教育実践研究	中平 一義	61
	法やルールの連続性と正統性に関する法教育授業の開発 ——特別支援学校における法教育	関本 祐希	71
	「外部講師による講演会」企画での民法教育と社会人基礎力の育成 ——法教育との関連も視野に入れて	足立 清人	79
〔研究ノート〕	法解釈を考える模擬裁判の試行	川田 泰之, 河野 敏也	89
	高等学校家庭科における家族法の学習	太田 正行	99

第2編 大会記録

〔パネルディスカッション〕 子どもの法意識・法知識と法教育 109

基調提案者：藤本 亮

パネリスト：三浦 昌宏, 金子 幹夫, 福本 知行, 船岡 浩

指定討論者：渡辺 弥生, 渡部 竜也

司 会：根本 信義, 磯山 恭子

第3編 学会通信

書評・図書紹介 160

法と教育学会規約 164

「法と教育」編集規程 166

「法と教育」投稿規程 166